



ROBOMECH2010 開催報告

実行委員長 古川 正志 (北大)

ROBOMECH2010 in ASAHIKAWAは、6月13日(日)～16日(水)の4日間にわたって、旭川大雪アリーナをメイン会場に4会場で各イベントが開催されました。初日(13日)は、旭川市科学館「サイバル」において市民参加企画「体験!!ロボットサイエンス」を開催しました。来場された多くの親子連れや小中学生には、実際に動くロボットを目の前にし、ロボメカ技術のすごさを体験いただけたようです。14日は、旭川地場産業振興センターを会場としてワークショップ・チュートリアルが行われました。また、この日の夕方には部門登録者総会も開催されました。3日目以降の15・16日の2日間は、旭川大雪アリーナにおいて、ポスター講演・企業展示会が開催されました。今回のポスター講演の発表件数は1,130件となり、2日間全6セッションにおいて、活発な意見交換がなされました。そのほか、3日目(15日)には、ポスター講演・企業展示の後、16:00より隣接する旭川市大雪クリスタルホールで表彰式と特別講演会が、また、同日夕刻には懇親会を開催しました。

大会期間中、最終日を除く3日間は晴天(北海道の6月とは思えない程の暑さ)であったという天候に恵まれ、1,428名の参加者によって盛会のうちに無事に大会を終了することができたのも、大会参加者および多くの関係者の賜物だと考えます。ここに厚くお礼を申し上げます。

部門賞・部門一般表彰報告

部門賞

部門功績賞 : 大道武生 (名城大)
 部門学術業績賞 : 川崎晴久 (岐阜大)
 部門技術業績賞 : 富士重工業(株), 川田工業(株), 荒井裕彦 (産総研)

部門一般表彰

部門貢献表彰 : 長谷川勉 (九大), 田中孝之 (北大)
 ROBOMECH表彰 : 安藤健, 小林洋, 岡本淳, 藤江正克
 「筋電制御によるゴム人工筋を用いたがん骨転移患者の寝返り支援コルセットの開発」。森上雄太, 高木健, 山本健吉, 石井抱「単眼でステレオ計測を実現する視点変換アイリス」。村井昭彦, 黒崎浩介, 山根克, 中村仁彦「モーションキャプチャ, EMG, 筋の動特性モデルに基づく筋張力のリアルタイム推定及び可視化」。鳴海圭亮, 福田敏男, 新井史人「AT-Cut 水晶振動子を用いた荷重センサの評価と温度補償」。関口明生, 荒井裕彦「湾曲同期ダイレススピニング加工法の開発」。
 ベストプレゼンテーション表彰 : 塚越秀行 (東工大), 加賀美聡 (産総研), 石川貴一朗 (早大), 竹内栄二郎 (東北大), 高野雅史 (早大)

詳細につきましては、部門HPをご覧ください。

九州地区競技会「フューチャードリーム! ロボメカ・デザインコンペ2010」開催案内

開催日 2010年12月4日(土)
 会場 ロボスクエア
 HP <http://www.ip.kyusan-u.ac.jp/J/kougaku/tb/sakaki/rmdc2010q/>

実行委員長 森園 哲也 (福岡工大)

少子高齢社会を背景に、高齢者や身体に障害のある人を含む一般ユーザにとって、ユニバーサルなデザインや人に優し

い技術が益々求められており、ロボティクスやメカトロニクスに精通するとともに柔軟な発想のできる技術者の育成が期待されています。その一助として、工学系学生とデザイン系学生とのコラボレーションによる新しいロボット・メカトロデザインを審査するコンテストを実施します。本コンテストでは機構・機能・動作・システムなどの工学的な観点と、利活用の仕方・外観・インターフェースなどのデザイン的な観点とから総合的に審査します。本年度は九州地区の産業発展を考慮し「九州の文化・産業に結びついたロボメカ技術(魚釣、イチゴ摘、柔道など)」をテーマとします。技術の進展や利活用の方向を展望し、学生にとって異なる分野との交流が良い刺激となり、産業界で活躍するエンジニアの育成に寄与するとともに、新ブランド・製品やベンチャー育成の契機となることを期待します。

英語力強化合宿 Academic Boot Camp 開催案内

開催日 2011年3月上旬の2日間を予定
 HP <http://www.jsme.or.jp/rmd/tech-committee/ABC2011.html>

実行委員長 大川 一也 (千葉大)

本講習会では、日米の研究事情・教育事情に詳しい国際的な研究者を講師としてお招きし、実践的な英語でのプレゼンテーション指導および質疑応答などのコミュニケーション指導を行います。また、講師だけでなく英語が第一言語相当のロボット研究者によるアドバイスのもと、参加者には資料の作成・発表・質疑応答といった一連の演習を行ってもらい、総合的な英語力の強化を図ります。これまでの参加者から「英語力の強化はもちろん、日本語でのプレゼンテーションにも役立つ」と非常に高い評価を得ている講習会です。短期間での能力向上と意識向上を図るため、参加者は約20名に限定し、合宿形式で実施します。詳細は、部門HPおよび学会誌12月号会告をご覧ください。

第14回ロボットグランプリ開催案内

開催日 2011年3月26日(土)～27日(日)
 会場 科学技術館
 HP <http://www.RobotGrandPrix.com/>

実行委員長 米田 完 (千葉工大)

ロボティクス・メカトロニクス部門主催行事であるロボットグランプリは、1997年に学会100周年の記念行事として一般に開かれたロボットの競技大会である「第1回ロボットグランプリ」に始まり、今回で14回目となります。今年も北の丸公園にある科学技術館において3月26日～27日の2日間開催いたします。本行事は小学生から大学生・社会人まで参加することのできる競技会となっており、ロボット作りの楽しさからメカトロニクス技術の神髄までを体験することができます。是非競技会に積極的にご参加下さい。

詳細は、部門HPおよび学会誌11月号会告をご覧ください。

第88期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 横井一仁 (産総研)
 副部門長 大隅 久 (中央大) 幹事 前田雄介 (横国大)

編集: ロボメカ部門 広報委員会

委員長 福田 靖 (玉川大) 副委員長 太田祐介 (千葉工大)
 委員 伊達 央 (防衛大) 幹事 亀川哲志 (岡山山)

部門HP: <http://www.jsme.or.jp/rmd/>
 広報委員会E-mail: rmd@jsme.or.jp